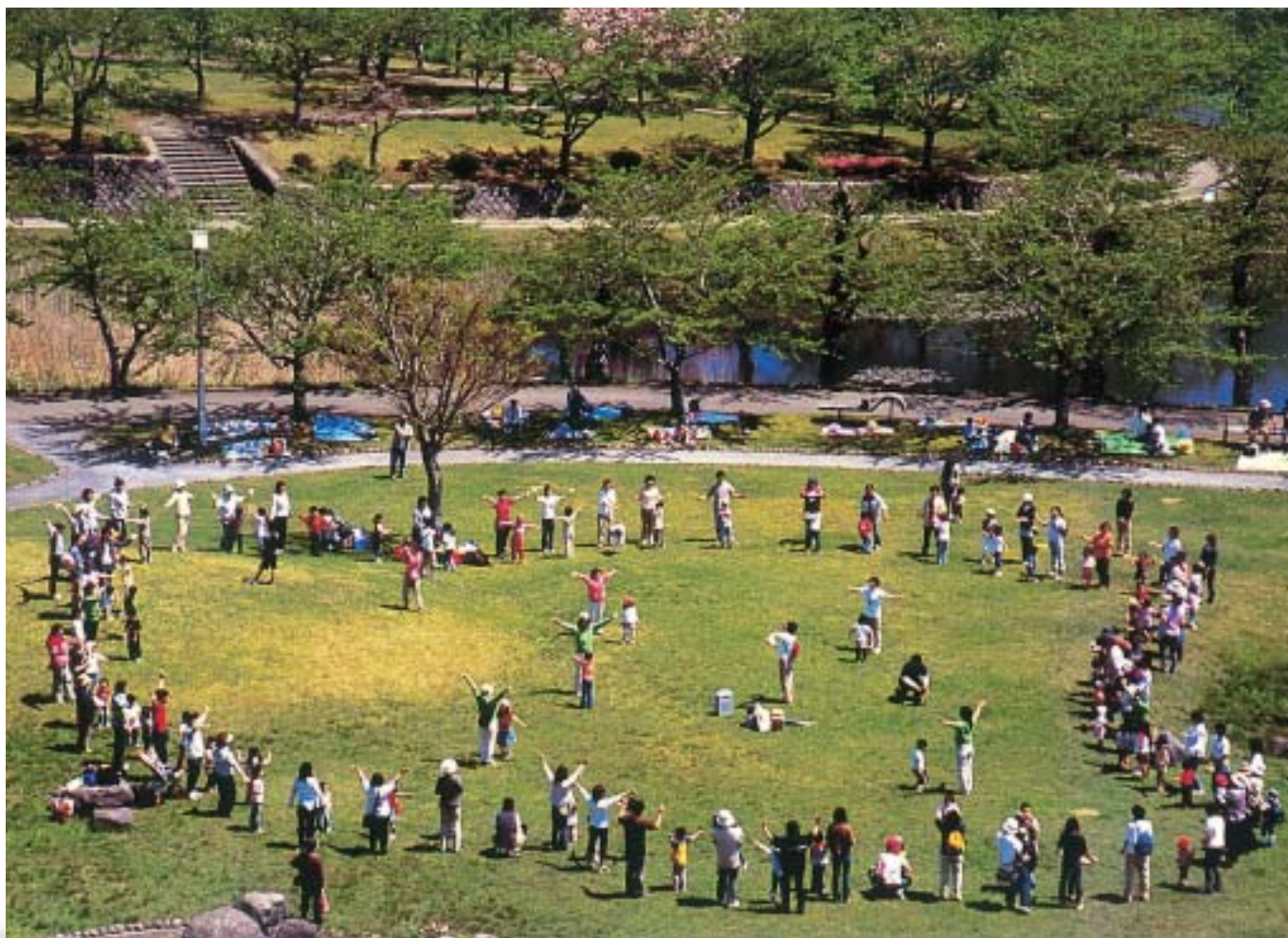




かけ はし
懸 橋
心

主な内容

■ 第1回臨時会	2～3頁
■ 議員紹介	4～5頁
■ 第1回定例会	6頁
■ 第2回臨時会	7頁



親子づれでにぎわう新緑の下田公園

(写真提供：おいらせ町文化協会 写撮会 西館清二氏)

新議会31人で スタート

馬場 巖議長、佐々木 四樓副議長を選ぶ



発行の「あいさつ」



おいらせ町議会議長

馬場 巖

新緑が目まぶしい季節となりましたが、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

新町おいらせ町が誕生して、第一号の「おいらせ町議会だより『懸橋』」をお届けすることができました。

この議会だよりは、議員で広報編集調査特別委員会を構成し、委員として自らが取材や編集を行い、本会議での質疑応答や各常任委員会での審査・調査などの活動状況をお知らせしようと発行するものです。

この小紙がかけはしと

なつて、町民皆様と議会との結びつきが深められ、議会活動をご理解いただける一助となればこの上ない喜びであります。

申し遅れましたが、先の臨時議会において私が議長として、佐々木四樓副議長とともに就任しました。また平成十九年四月三十日までの在任特別により、三十一人の議員が熱き思いを秘め、均衡ある発展のため活動しております。

さて、早いもので、おいらせ町が誕生して四カ月目を迎えました。この間、臨時会、定例会が開

かれ、議会、町当局の体制も整い、町民の期待に答えるべき新町建設計画の実行に向けまい進することとなります。

議会といたしましては、議決機関としての役割を踏まえながら、地域に住んでいる人の満足度を高め、合併してよかつた実感できるように最大限の努力を傾けてまいります。今後とも町民各位の層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、議会だよりの発行にあたっての「あいさつ」といたします。

平成18年 第1回臨時会

議会の組織が決まる

おいらせ町の初議会となる第1回臨時会が、3月6日に町民交流センターで開かれ、議長、副議長、各常任委員会等の構成が決まる

主な議案の内容

- ◆おいらせ町役場の位置を定める条例ほか百五十二件の条例を制定
おいらせ町の設置に伴い、円滑な行政運営を進める上で必要不可欠な条例を制定。
- ◆一般会計暫定予算
総額を五十億二百五十三万三千円とした。歳出の主なものは、おいらせ町開町式典準備費
・ おおぞら保育園改築整備費補助金
・ 大型クラゲ対策改良漁具購入事業費等

- ◆町指定金融機関の指定
十和田信用金庫を公金の収納及び支払いの事務を取り扱わせる金融機関として指定。
- ◆国民健康保険特別会計暫定予算
総額を六億一千九百五十万とした。

- ◎暫定予算
旧二町の平成十七年度予算の執行残額を基本とした。
- ◎議員発議
・ 議会委員会条例の制定
・ 議会会議規則の制定
・ 議会事務局設置条例の制定



三村町長職務執行者

新しい委員会の 構成

おいらせ町議会には、三つの常任委員会が設置されました。各常任委員会では、議会から付託された議案や請願の審査を行うほか、所管している事項について、調査活動を実施します。

総務企画常任委員会

総務、企画、財政、税務、出納、監査、選挙、に関する事項並びに他の常任委員会に属しない事項。

産業建設常任委員会

農林、水産、畜産、商工観光、土木、建築、都市計画、上下水道に関する事項。

議会運営委員会

委員長 北 向 敬 夫
副委員長 下 川 原 千 秋
委員 佐 々 木 光 雄
委員 西 館 芳 信
委員 前 川 原 俊 雄
委員 吉 田 勝 志
委員 柏 崎 利 信
委員 木 村 民 二
委員 種 市 恭 子
委員 川 口 弘 治

文教民生常任委員会

教育文化、福祉厚生、民生、保健福祉、病院事業に関する事項。

議会広報編集調査特別委員会

委員長 日 野 口 和 子
副委員長 吉 田 絹 恵
委員 佐 々 木 四 樓
委員 下 川 原 千 秋
委員 吉 村 敏 文
委員 沼 端 務
委員 山 崎 市 松
委員 馬 場 正 治

一部事務組合議会の議員

●十和田地域
広域事務組合議会

議員 袴 田 信 男

議員 山 崎 市 松

●十和田地区
環境整備事務組合議会

議員 馬 場 正 治

●八戸地域広域
市町村圏事務組合議会

議員 二 川 目 隆

●上北地方教育
福祉事務組合議会

議員 吉 村 敏 文

●農業委員会(議会推薦)

委員 立 花 國 雄

委員 澤 頭 好 孝

委員長 工 藤 與 之 美

副委員長 吉 田 勝 志

委員 馬 場 勝 巖

委員 北 向 敬 夫

委員 二 川 目 隆

委員 前 川 原 俊 雄

委員 川 口 博 美

委員 下 川 原 千 秋

委員 木 村 民 二

委員 吉 田 絹 恵

委員 山 崎 市 松

委員長 柏 崎 利 信

副委員長 立 花 國 雄

委員 佐 々 木 四 樓

委員 熊 野 清 市

委員 佐 々 木 光 雄

委員 西 館 秀 雄

委員 袴 田 邦 彦

委員 馬 場 福 志

委員 澤 頭 好 孝

委員 馬 場 正 治

委員長 種 市 恭 子

副委員長 川 口 弘 治

委員 小 向 文 男

委員 西 館 芳 信

委員 成 田 隆

委員 柏 崎 利 弘

委員 袴 田 信 男

委員 吉 村 敏 文

委員 沼 端 務

委員 日 野 口 和 子



委員長報告をする北向議会運営委員長 (左)



臨時会のようなす

議員の紹介

議長、副議長、当選回数順に、氏名・年齢・住所を掲載しました。任期は平成十九年四月三十日です。

議長 馬場 巖 (六一歳)



当選 3 回
上久保63-131

副議長 佐々木 四樓 (七〇歳)



当選 2 回
一川目三丁目73-1843

北 向 敬 夫 (七六歳)



当選10回
上明堂60-2

工 藤 與 之 美 (七七歳)



当選10回
新田20-1

熊 野 清 市 (七七歳)



当選10回
一川目一丁目73-159

二 川 目 隆 (六八歳)



当選 7 回
二川目三丁目89

小 向 文 男 (六八歳)



当選 6 回
深沢二丁目73-167

佐 々 木 光 雄 (六三歳)



当選 5 回
一川目一丁目73-334

西 館 芳 信 (五五歳)



当選 4 回
一川目二丁目65-369

西 館 秀 雄 (四六歳)



当選 4 回
深沢一丁目73-163

前 川 原 俊 雄 (七五歳)



当選 3 回
西前川原18-2

吉 田 勝 志 (六六歳)



当選 3 回
境田62-1

川 口 博 美 (六四歳)



当選 3 回
後田25-2

成 田 隆 (五五歳)



当選 3 回
神明前139

柏 崎 利 信 (五四歳)



当選 3 回
立蛇14-3



袴田 邦彦 (五九歳)

当選 2 回
中下田190



種市 恭子 (六八歳)

当選 2 回
向山3-317



木村 民二 (七三歳)

当選 2 回
一川目四丁目127-39



下川原 千秋 (三八歳)

当選 3 回
館越48



袴田 信男 (五五歳)

当選 2 回
間木3



立花 國雄 (五六歳)

当選 2 回
一川目四丁目74-876



馬場 福志 (五七歳)

当選 2 回
木崎161



柏崎 利弘 (五九歳)

当選 2 回
文ノ端88-1



吉田 絹恵 (五九歳)

当選 1 回
後田23-3



沼端 務 (四一歳)

当選 2 回
東後谷地71



吉村 敏文 (五三歳)

当選 2 回
二川目三丁目29-1



澤頭 好孝 (五三歳)

当選 2 回
阿光坊8



川口 弘治 (四七歳)

当選 1 回
下明堂79-50



馬場 正治 (五四歳)

当選 1 回
境田77-12



山崎 市松 (五八歳)

当選 1 回
瓢12-1



日野口 和子 (五九歳)

当選 1 回
鶯久保山17-86

介護保険料改正 基準額は5,580円

条例・平成18年度暫定予算を可決

平成十八年第一回定例会が、三月十日から十四日までの五日間の会期で開かれ、条例七件、予算十一件の議案を審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

主な議案の内容

◆介護保険条例の一部改正

・第一号被保険者の保険料基準額は月額五千五百八十円とし、所得段階に応じた調整率を表のとおり設定。税制改正に伴う激変緩和措置の保険料に関する改正。

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

・職員の給料月額並びに勤勉手当の支給率を改定し、昇給制度を改める

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

・町立保育所の民営化に

平成18～20年度までの介護保険料基準額

所得段階	対象者	基準額 ×調整率	保険料	
			月額	年額
第1段階	生活保護を受給している方及び世帯全員が町民税非課税で老齢福祉年金を受けている方	基準額 ×0.5	2,790	33,480
第2段階	世帯全員が町民税非課税で前年の合計所得額+課税年金収入額が80万円以下の方	基準額 ×0.5	2,790	33,480
第3段階	世帯全員が町民税非課税で第2段階に該当しない方	基準額 ×0.75	4,185	50,220
第4段階	世帯の誰かに町民税が課税されているが、本人は町民税非課税の方	基準額 ×1.0	5,580	66,960
第5段階	本人が町民税課税で前年の合計所得額が200万円未満の方	基準額 ×1.25	6,975	83,700
第6段階	本人が町民税課税で前年の合計所得額が200万円以上の方	基準額 ×1.5	8,370	100,440

・併い、主任保育士手当及び保育士手当を廃止。

◆町道の路線認定・廃止
・十七路線の認定、八路線の廃止。

◆一般会計暫定予算
総額を二十五億六千四百八十万円とした。

◆国民健康保険特別会計暫定予算
総額を五億八千四百四十四万七千円とした。

◆老人保健特別会計暫定予算
総額を三億八千三百二十九万八千円とした。

◆介護保険特別会計暫定予算
総額を四億一千六百六十四万七千円とした。

◆病院事業会計暫定予算
収益的収入及び支出の、収入に二億二千二百二十七万円を、支出に二億四千五百二十三万四千円計上し、資本的収入及び支出の、収入には三千二百二十九万九千円を、支出には三千八百九万四千円を計上し、不足する五百七十九万五千円は、当年度分損益勘定留保資金で補填する。

◆奨学資金貸付事業特別会計暫定予算
総額を三百一十二万二千円とした。

◆公共下水道事業特別会計暫定予算
総額を一億六千七百四十四万二千円とした。

◆農業集落排水事業特別会計暫定予算
総額を一千四百七十九万二千円とした。

◆霊園事業特別会計暫定予算
総額を三百九十四万九千円とした。

◆訪問看護ステーション特別会計暫定予算
総額を二百八十八万八千円とした。

◆公共用地取得事業特別会計暫定予算
総額を一千百九十六万三千円とした。



助役など人事が決まる

教育委員会委員5人、監査委員2人、固定資産評価審査委員会委員3人、選挙管理委員会委員4人及び補充員4人が決まる



提案理由を述べる三村町長

第二回臨時会が五月十二日に開かれ、人事案件十一件、報告案件十三件、条例改正・廃止二件について審議した結果、いずれも原案のとおり可決（承認・同意しました）。助役人事案は、議長を除く議員二十八人による記名投票で採決が行われ、賛成多数で可決しました。また、選挙管理委員の選挙では、議長の指名推薦により四人を選出しました。

助役



鈴木 泰文氏（六五歳）

教育委員会委員



委員長
山崎 齋氏（六五歳）



教育長
村上 博氏（六八歳）

教育委員長職務代理者



佐藤 良子氏（五八歳）

教育委員



木村 緑氏（四七歳）

教育委員



加藤 正志氏（五六歳）

監査委員

高坂 隆雄氏（四六歳）
沼端 務氏（四一歳）

固定資産評価審査委員会委員

委員長
谷地 武氏（六三歳）

委員長職務代理者

松田 信夫氏（六八歳）
市村堅二郎氏（六八歳）

選挙管理委員会委員

委員長
磯沼 寛二氏（六九歳）

委員長職務代理者

小向 武志氏（七四歳）

川口 秀男氏（六七歳）

西川 悦子氏（五五歳）

選挙管理委員会補充員

橋本 正志氏（六五歳）
岩崎 良一氏（五九歳）
小向 義男氏（六〇歳）
中尾千鶴子氏（六七歳）

〔条例〕

承認・可決五件

◆国民健康保険おいらせ病院の一部負担金及び使用料並びに手数料条例の一部を改正する条例

◆おいらせ町町税条例の一部を改正する条例

◆おいらせ町国民健康保険条例の一部を改正する条例

◆おいらせ町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償額に関する条例の一部を改正する条例

◆おいらせ町長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例

議 長 日 誌

3月

- | | | | |
|----|---|----|---------------------------------|
| 1 | 開庁式 | 12 | A S Oスポーツ振興協議会定例総会 |
| 6 | 第一回臨時会 | 18 | おいらせ町体育協会設立総会 |
| 10 | 第一回定例会 | 19 | 全国将棋祭り実行委員会 |
| 15 | 百石中学校卒業証書授与式 | 20 | ほがらか教室開校式
議会広報編集調査特別委員会 |
| 17 | 百石小学校卒業証書授与式 | 21 | 百石町文化協会創立二十五周年記念式典及び解散総会 |
| 22 | 下田小・木内々・木ノ下小学校卒業証書授与式 | 23 | 朝野球開会式 |
| 30 | 下田町観光協会臨時総会 | 24 | おいらせ町連合婦人会設立総会 |
| | 百石町町内会連合会解散総会 | 25 | 百石町地域水田農業推進協議会 |
| | | 26 | 下田町地域水田農業推進協議会 |
| | | 27 | おいらせ地区更生保護女性会総会 |
| 1 | おいらせ町子ども会育成連合会設立総会 | 28 | おいらせ広域シルバー人材センター創立十周年記念式典並びに祝賀会 |
| 6 | おいらせ町観光協会設立総会 | 29 | 海上自衛隊第二航空群観桜会 |
| 7 | 木ノ下小・木内々小・下田小・甲洋小・百石小・百石中・下田中・木ノ下中学校入学式 | 30 | 下田農協・しいもグリーン懇話会 |

議会広報編集調査特別委員会を開催

おいらせ町の議会広報創刊号発行のため、去る四月二十一日に、合併後初めての議会広報編集調査特別委員会を開催しました。

委員会では、議会広報のネーミングについて協議した結果、町民と議会のかけはしとなることを願い「懸橋」としました。



編集委員会

議会は自由に傍聴できます!

6月定例会は、6月9日(金)からおいらせ町民交流センターにおいて開会します。会議時間は原則、午前10時から午後4時までとなっておりますが、都合により変更することがあります。

編集後記

去る三月一日に、旧百石町と旧下田町が合併し、おいらせ町が誕生しました。

その後、新町長も決まり、今、町は一つに融合しあいながら、新しい町づくりを目指しています。

私も議会議員はもとより、行政側も心をあたらに、町民の声なき声を多く吸い上げて、新しい町づくりに役立つ所存でございます。合併後三十一名と大

所帯になった議員の任期も残すところあと一年をきりました。

その間、私も編集委員は、町民と行政との懸橋として心を尽くしてまいります。

どうかご意見、ご要望がありましたら遠慮なくお寄せいただき、私どもに勉強させていただきます。

町民の懸橋たらんと編集後記書き終へ暁光の中にたたずむ



編集委員です ヨロシク

編集委員長

日野口 和子